



Topic 1 ▶▶▶

建築設計の設計者を決めるため、設計競技の
手続きを開始しました



事業の概要は？

- 敷地面積 約9,950㎡
- 新庁舎延床面積 3,000㎡以内
- 駐車場や歩行者用通行路 8,500㎡を予定しています。



設計競技とは？

設計者を公募し、応募いただいた中から最適な設計者を選定する方式です。



どうしてそのような手法を用いるのですか？

小野町新庁舎建設基本計画を基に行政サービスの中核に求められる機能を最も理解し、新技術の活用や高度かつさまざまな観点からの検討など、ポストコロナの令和時代における「ニューノーマル(新しい日常)」に沿った、多面的な提案能力のある設計者が求められるからです。



そのような設計者は見つかるの？

県内外(関東・東北エリア)から広く応募者を募り、多くの設計者から多種多様な提案をいただき、厳正な審査により最もふさわしい設計者を選定します。



小桜ちゃんMemo：小野町から設計者への課題!!!

「小野町新庁舎建設基本計画」を基礎に以下の4つのテーマに対する基本的な考え方をまとめ、技術提案書をA3版合計3枚に表現し提出を求めます。

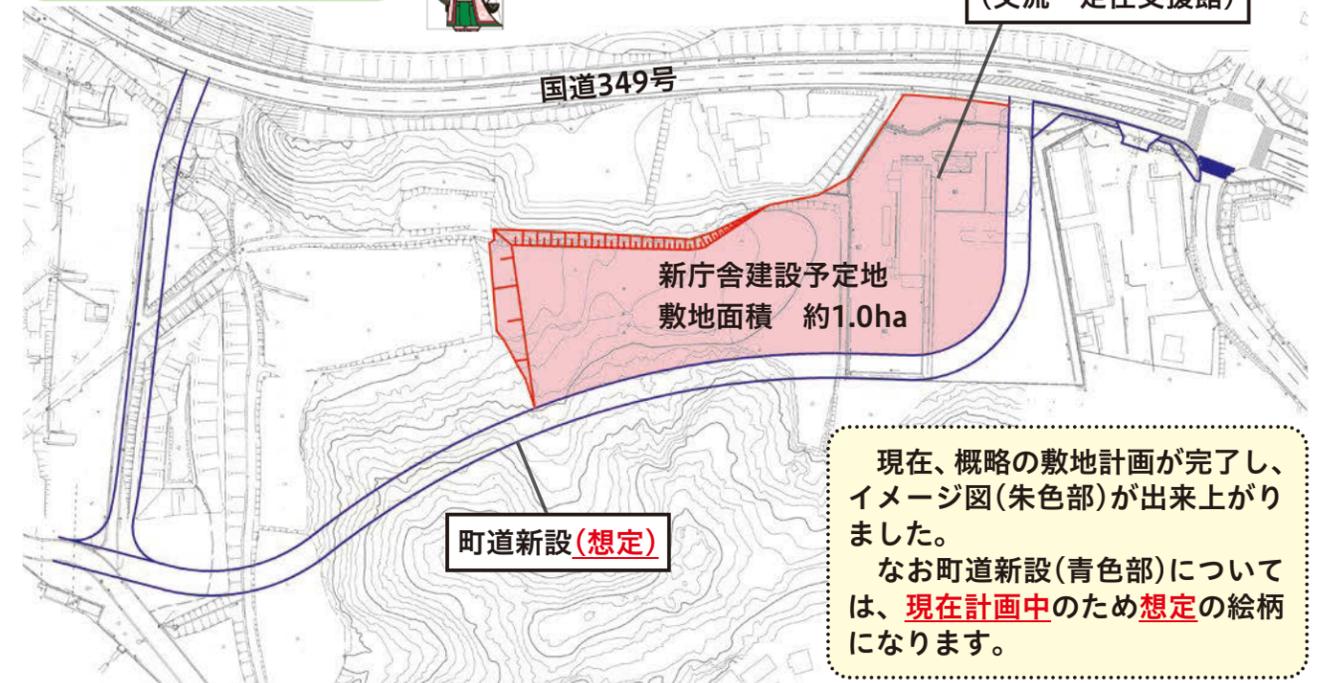
- ① 災害に強く安全・安心な暮らしを支える庁舎
(有事の際における防災拠点としての機能及び利用計画、特徴など)
- ② 町民に親しまれ誰もが利用しやすい庁舎
- ③ 経済性に配慮した庁舎
- ④ 環境にやさしくまちと調和した庁舎



Topic 2 ▶▶▶

敷地設計のイメージと設計者決定までの流れ

敷地計画のイメージ



現在、概略の敷地計画が完了し、イメージ図(朱色部)が出来上がりました。
なお町道新設(青色部)については、**現在計画中**のため**想定**の絵柄になります。

設計者決定までの流れ



- ・応募者への現地説明会……………令和6年9月19日(木)実施済
- ・技術提案書等の提出……………令和6年12月17日(火)から19日(木)まで
- ・設計競技審査(設計者決定)……………令和7年1月
- ・建築設計業務着手……………令和7年2月



現地説明会の様子①

小桜ちゃんMemo：現地説明会について

現地説明会参加申込書を提出した設計者を対象に、勤労青少年ホームで事業概要について説明後、新庁舎建設予定地に移動し、現地説明を行いました。

これは、設計者が各審査で使用する技術提案書などを作成するにあたり、建設地の現状を把握し、最も適した計画を提案できるようにするため実施したものです。



現地説明会の様子②